

1年の始まりのお楽しみ

餅つき会がありました。

新たな年を迎え、1年の始まりの恒例行事『餅つき会』が、1月18日におこなわれました。

当日は曇一つない快晴で、コムハウス玄関前に全員集合して「よいしょ、よいしょ」の元気な掛け声の中、順番でお餅をつきました。

気合が入りすぎて、餅から外れ臼を思いっきり叩いてしまうなかまや、慎重につくなかま、職員と手を取り合っつくなかま、みんなそれぞれ楽しんで笑顔があふれる餅つき会となりました。



ちょっとだけ聞いて、考えてみて下さい・・・

自分の顔を強く叩く、自分の腕に噛みつく等、自分で自分の事を傷つけてしまう行為を「自傷行為」、それとは逆に他人に対し、攻撃してしまう事を「他害行為」といいます。

このような行為が非常に多い程度で見られ、通常の環境下では対応が困難である特性を持つ方を「強度行動障害」といいます。

強度行動障害の特性が見られる原因として、周囲からの様々な刺激や情報（自の刺激の例として、工事現場、車騒音等の騒音、エアコン、冷蔵庫などの稼働音、人の話声等）に対して、その物事が理解または処理が出来ない、物事を伝えたいのにうまく伝わらない、伝える手段が無い事などが理由として考えられます。また、強度行動障害の方が自覚症である場合は、物事の考え方がまわりの人とは違う事が多く、お互いに理解が難しいという事も理由の一つになります。

強度行動障害は、

問題を知らせたりする行動ではなく、

本人が困っているサインだと考えてください

自分の顔を叩いたり、大きな声を出して歩いている。

突然、攻撃的な言動を投げかけられる等、少しその方の行動が理解できないなと思った事はありますか？

その「理解できないな」と思った行動は、その行動をしている方からのSOS 信号だと考えて下さい。

自分の伝えたい事がうまく伝えられない、自分に対して何を言っているのか理解できない、これから何をするのか分からない等、理由は様々ですが、その「理解できないな」と思う行動の全ては「理由のある行動」なんです。

もし「理解できないな」と思う行動をしている方を見かけたら、指を指して見る事や大きな声で注意する事はしないで、その方が「とても苦しんでいるんだな」と考えて優しい気持ちで見守り、少しでもその行動を理解しようとしてもらえらなと思います。

【編集後記】

3月、4月は別れと出会いの季節です。コムハウスでも、何人かの職員が新たな出発をする事になりました。別れを悲しむ事より、その人に出会えた事に「ありがとう」と思える心を持つと、忘れずにいつまでもいい関係が続いて行くと思います。そして出会いの時、出会えた事に「ありがとう」と思うと、いい関係が築けます。心を柔らかくして、感謝する気持ちを持ちたい季節です。【中村】